

## 日本細胞診断学推進協会細胞検査士会支部代表者会議議事録

第 49 回日本臨床細胞学会総会(春期大会)

日時：平成 20 年 6 月 6 日(金) 15:30～17:20

場所：グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール 2F 若葉

出席者：代表者 44 名(欠席支部：神奈川県、佐賀県、沖縄県)、役員 12 名(各種委員会委員長、副会長)

日本細胞診断学推進協会細胞検査士会規則 支部代表者会議に関する運用細則 第 6 条に基づき、委員長が議事を進行した。出席 56 名(代表者及び代理人 44 名、役員数 12 名)で過半数に達しており支部代表者会議は成立した。

### 畠山副会長挨拶

支部代表者会議に参加の皆様、日常業務のほか、細胞検査士会会員との密接な繋がりの中で最先端でのお役目、お疲れ様です。

細胞検査士会が実施しております各委員会業務が、会員皆様に周知され理解を得て進んでいるのか役員の一員として不安を感じる場合も少なくありません。つまり、細胞検査士会活動が各支部会員から見えているのかという点であります。支部代表者の存在意義の一つには支部会員の意見をまとめて、細胞検査士会活動に反映させ、同時に検査士会活動を会員に認識して頂くという重要な役割があります。

私は細胞検査士会の発展を左右するのは支部代表者が重要な一翼を担っていると確信しております。中央の活動を支部会員に伝達するだけでなく、検査士会を活性化する中心的存在であることを共有意識として持ち続けたいと思います。活発な意見交換をお願いする次第です

### 議題

#### 1) 各種報告

委員長：昨年度検査士試験状況：受験者 648 人中合格者 242 人(37.3%)

今年度試験予定：一次試験 10 月 26 日、二次試験 12 月 13,14 日

20 年度資格更新予定者 1514 名

検査士試験細則のみなおしを行なっている。web 研修の単位取得を検討中である。

施設認定制度委員会では今年度もコントロールサーベイを実施する予定であり、昨年同様 6000 円の負担をお願いする。

教育研修施設認定制度を設定する予定で、この場合は有料となる。

推進協会の HPV 検討委員会では HPV に関する 50 題の Questions & Answers をまとめた。今学会でワークショップとして報告し、検査士会 HP に掲載することとなった。

また、冊子を作成し関係部署に配布する予定である。

細胞検査士健康管理委員会による視力調査報告(杉島委員): 2003年10月に発足した第2期細胞検査士健康管理委員会は、2008年度で5年間の委員会活動が修了いたします。活動の内容をまとめ日本臨床細胞学会雑誌へ1編投稿をしておりますが、現在5年間データを分析し投稿の準備中です。5年間の活動期間が終わりますが、今後、この事業の継続については、予算の関係もあり現在検討中です。多数の細胞検査士の皆様に検査を受けて頂き有り難うございました。

なお、今学会中も測定しておりますので参加してください。

渉外委員長より報告(夏目委員長)

日臨技加入率調査について

平成19年度に支部代表者のご協力により、日臨技加入率の調査が行われました。

結果は資料として配布させて頂きましたが、まとめますと細胞検査士の日臨技加入率は臨床検査技師の加入率と大差ないという結論を得ました。改めてご協力に感謝申し上げます。

細胞検査士の啓発宣伝について

平成19年度に細胞検査士会は各委員会の役割分担を再確認致しました。

当渉外委員会の役割として、他団体(学会関連、患者団体など)との交流推進と、表記啓発宣伝を推進します。その啓発宣伝には、何をすればよいかということ、皆で考えていくために、一つの手がかりとして、各県が実施している「がん対策推進基本計画」への協力があると思います。がん撲滅のためのキャンペーンや健康フェア、4月9日「子宮の日」の催し、患者団体との協力もあるでしょう。

そこで、啓発宣伝活動調査を実施する予定です。その内容は平成20年度の4月から12月間に、各支部で検査技師会との合同も含めて、外部への啓発宣伝活動の実地調査を依頼します。詳細についてはMLで報告いたします。

学術委員長より報告(是松委員長)

平成20年度活動予定:

1. 平成20年5月17日16:10~18:00 (実施済み)

第97回日本病理学会コンパニオンミーティング

会場: 石川県立音楽堂(金沢市)

テーマ: 「細胞診断と組織診断の不一致症例の検討」

参加費: 3000円(検査士カードを持参した場合の病理学会参加費)

参加細胞検査士: 約100名 JSC5点 IAC5点

2. Self assessment slide およびベセスダ準拠新日母分類に関する特別企画は細胞検査士教育セミナー(8月東京・大阪)の中で実施

3. 第3回・第4回乳腺ワークショップ: 平成20年9月13日14日・9月14日15日 会場: 久留米大学

第5回・第6回乳腺ワークショップ: 平成21年3月20日21日・平成21年3月 会

場：北海道（予定）

4. 第1回ベセスダ準拠新日母分類に関するワークショップ：平成20年10月26日（日）

会場：神戸

平成21年3月 会場：東京(予定)

5. 体腔液標本作製マニュアルの発行

6. 第47回日本臨床細胞学会秋期大会 教育シンポジウムのテーマ(案)

『細胞診はどこまで組織所見を捉えられるか - 細胞像から組織構築を掴む - 』

規約委員長より報告（小川委員長）

1) 本会における会議の運用や文書管理などについて定めた細則集が本日の役員会で承認されました。詳細については、MLで事前にお配りしました原案の通りですが、既に施行されている規約や規程集とともに、「規則集」として細胞検査士会ホームページなどに掲載して会員の皆さんが参照できるようにします。

2) 平成21-22年度役員選挙の選挙実施要綱が、本日の役員会で承認されました。詳細については、事前にMLで配布しました原案の通りですが、ホームページでも報告します。選挙管理委員会が設置されましたら、あらためて選挙管理委員長からお願い致しますが、円滑な選挙の実施のためには、まず選挙人名簿の確定が大切です。各支部におかれましては、円滑な代議員選出に御協力をお願いします。また、代議員の選出状況についても迅速に選挙管理委員会に御連絡くださいますようお願い致します。

精度管理アンケート集計報告（小林長野県代表）

【資料1】

都道府県としての回収率...46/47（97.9%） 回答団体（主催者）数...50

内訳 46都道府県（うち3都道府県からは2団体の回答）、および1地方ブロック（細胞学会九州連合）

以下の集計結果は未回収1県、および地方ブロック1団体を除いた計49団体のデータである。

都道府県主催の精度管理実施状況

実施している ...35/49（71.4%）

主催の内訳 技師会...25 検査士会...5 細胞学会...1 技師会・検査士会...1

技師会・細胞学会...1 その他...2

実施していない...14/49（28.6%） その理由の内訳（複数回答有り）【資料2】

他で代行している...7 マンパワー...6 予算の都合...5 未入力...2（石川県、山梨県）

実施していない14都道府県について

今後の実施予定は ある...0 なし...3 未定...11

実施している35団体（32都道府県）について

精度管理の内容

フォトサーベイ...24 染色...1 フォトサーベイと染色の併用...2 その他...8

その他の内訳 プレパサベイ...3 プレパサベイ、染色...1 塗抹、染色、判定...1  
フォト、染色、判定...1 フォト、塗抹、染色、判定...1 標本作製（細胞回収率）...1  
フォトサベイを実施している 28 都道府県について

#### 資料配布形式

35mm スライド...1 プリントアウト画像...4 デジタリ画像...15 インターネット...2  
プリントアウト・デジタリ画像...1 デジタリ画像・インターネット...4 その他...1

#### 配布形式の理由（複数回答有り）

例年に準じて...13 経済的理由...11 出題者都合...15 回答施設都合...3 その他...1

工夫点【資料3】参照 なし...17 あり...11

問題点【資料3】参照 なし...14 あり...14

変更予定【資料3】参照 なし...10 未定...15 あり...3

染色を実施している 7 都道府県について

染色の種類 Pap...3 Giemsa...0 PAS...1 Pap・Giemsa...1

H19 年度不明...1（徳島県） その他...1（CEA, EMA の免疫染色）

染色項目採用理由 例年に準じて...0 診断に重要...5 評価し易い...1

標本作製管理上...1

#### 配布資料の種類

未固定生材料...1 固定済み液状検体...1 塗抹固定済み未染標本...4

その他...1（標本抜き取り調査）

工夫点【資料4】参照 なし...4 あり...3

問題点【資料4】参照 なし...5 あり...2

変更予定【資料4】参照 なし...3 未定...3 あり...1

【資料5】: 全体的意見・参考コメント

【資料6】: 【資料1】を細胞検査士数順に並び替えたもの

今回のアンケート調査より

実施そのものに関しては必ずしも検査士数が多い都道府県が行っているわけではない。  
（検査士数が多いと小回りがきかず、特に染色関係のサベイは工夫が必要である）

実施内容については各都道府県で千差万別と言ってよく、特に少数意見が参考になる。  
（スライドカファによる点数化、プレパサベイ、免疫染色、抜き取り調査、標本作製）

工夫点にも参考になる意見が見られた（以下フォトサベイについての例）

○通常の回答後に指定細胞の所見について設問形式にして細胞の読みの一致も調査

○回答の他に判断基準項目の選択をつけて誤回答の原因調査を行った

○勉強中の方やルチ業務に当たってない検査士も参加できるチャレンジ枠の設定

○症例選定にあたり専門医、ベテラン検査士の方に事前回答（モニター）していただき、正解率  
70%以上の症例を採用

尚、アンケート未回収支部（静岡）および一部不足分がある支部のデータを追加して最

終的な報告を細胞検査士会ホームページに掲載する予定です。

#### 協議事項

検査士の社会的認知向上への活動について（青木総務委員長）

総務委員会では細胞検査士の社会活動を本年度の事業計画に掲げています。

その一環として、子宮頸がん検診啓発活動と第4回がん患者大集会の開催に協力することを事業計画に掲げさせていただいています。

子宮頸がん検診啓発活動は、来年の4月9日（子宮の日）に、NPO法人子宮頸がんを考える市民の会と合同で行なうことを計画しています。今までは、子宮頸がん検診は細胞診でしたが、これからは、HPV検査ワクチン投与という新しい予防法も考慮されてきます。現在の受診者はローリスクの高齢者が中心であるため異常の検出率が少ないので、ハイリスクの若年層の受診者を増やすことで異常検出率を上げることが、細胞診による検診の価値を高めることとなります。各支部のみなさんのご協力をお願いいたします。

それから、今年の11月30日（日）に第4回がん患者大集会在全国9会場をがんセンターのネットを利用して開催されます。会場は北海道地域＝北海道がんセンター（札幌市）、東北地域＝岩手県立中央病院（盛岡市）、関東地域＝国立がんセンター（東京築地）、北陸地域＝新潟県立がんセンター新潟病院（新潟市）、中部地域＝愛知県がんセンター（名古屋市）、関西地域＝大阪府立成人病センター（大阪市）、中国地域＝呉医療センター・中国がんセンター（呉市）、四国地域＝四国がんセンター（松山市）、九州地域＝九州がんセンター（福岡市）の9会場です。

患者会の活動に細胞検査士が協力することは、細胞検査士というがん検査にたずさわる職種があることを知っていただくこと、お互いの理解に大変有益と考えます。会場となる施設の細胞検査士の方々を中心に各地域の細胞検査士のみなさんのご協力をお願いいたします。

会員管理について（赤松委員長）

会員7000人をこえる大きな組織になっているが、会員管理は学会事務局が行ない本会として状況をつかんでいない。

今後検査士が減少するといわれているが現在の年齢・性別分布・所属施設状況なども不明であるため、検診体制の変更による検査士の現状も掌握することは困難である。

会員の置かれている現状を早く正確に掌握するためには、本会で会員管理を行なっていく必要がある。そのため当委員会内に会員管理検討小委員会を立ち上げることが役員会で承認された。

そのため代表者の方々の中から委員に就任していただくと共に、会員データの収集にはご協力いただきたい。

・会員の中には施設の都合により細胞診に従事できないものもあり、そのような会員にとって不利になるような事のないような配慮が必要ではないか。

委員長：個人データに関する様々な問題があるので、どのような管理方法を行うかについても、小委員会で検討する必要がある。

・支部会員の情報を集めるための経費は考えてくれるのか

経理委員長：今年度経理状況は厳しく、新規事業のための経費はない。

委員長：まず小委員会を立ち上げ、どのような内容で行なうか、どのような問題があるかについても調査する必要がある。

小委員会の検討情報については役員会及び代表者 ML で報告し、ご意見を願いますつもりであるから、ご了承いただきたい。

その他

庶務委員長：会員の逝去については速やかに対応するため、庶務委員長に直接連絡してほしい。詳細についてはメールでお知らせする。

記録：赤松節、平田哲士（支部代表者委員会）

議事録署名人 阿部 一之助（印省略）

議事録署名人 藤田 勝 （印省略）